

完了後の評価個表

整理番号	1-1
------	-----

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	埼玉県									
事業実施地区名	朝日根 (あさひね)	事業計画期間	平成7年度～平成22年度(16年間)									
関係市町村名	東秩父村 (ひがしちちぶむら)	事業実施主体	埼玉県									
完了後経過年数	5年	管理主体	埼玉県									
事業の概要・目的	<p>本地区は東秩父村の西部に位置し、過去に活発な地すべり活動を示した地域で、平成5年頃から台風等による豪雨のたびに亀裂が多発し、地域住民の生活に支障を及ぼし始めた。</p> <p>また、本地区周辺は、大部分が三波川帯<small>さんばがわ</small>と言われる変成岩地帯であり、規模の大きい断層が走っていることから、構造的に母岩の脆弱化が進んでいる状況であった。</p> <p>このことから、本地区の下流域の民生の安全・安心の確保のため、地すべり活動の沈静化を目的に、平成7年度から地すべり防止事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：集水井工8基、集排水ボーリング暗渠工9, 739m、杭工157本、アンカー工47本 ・ 総事業費：2, 103, 805千円（平成17年度評価時点：2, 100, 000千円） 											
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本地すべりにより被災するおそれのあった人家、道路等について、事業実施により保全する効果を山地災害防止便益として計上している。その算定基礎となっている人家の戸数、道路の延長等については、特段の変化はない。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益(B)</td> <td style="width: 30%;">7, 100, 319千円</td> <td style="width: 40%;">(平成17年度評価時点：4, 165, 633千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>3, 592, 613千円</td> <td>(平成17年度評価時点：1, 906, 023千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.98</td> <td>(平成17年度評価時点：2.19)</td> </tr> </table>			総便益(B)	7, 100, 319千円	(平成17年度評価時点：4, 165, 633千円)	総費用(C)	3, 592, 613千円	(平成17年度評価時点：1, 906, 023千円)	分析結果(B/C)	1.98	(平成17年度評価時点：2.19)
総便益(B)	7, 100, 319千円	(平成17年度評価時点：4, 165, 633千円)										
総費用(C)	3, 592, 613千円	(平成17年度評価時点：1, 906, 023千円)										
分析結果(B/C)	1.98	(平成17年度評価時点：2.19)										
② 事業効果の発現状況	<p>本事業を実施したことにより、地すべりの活動が抑制され、人家、道路等の安全が保たれている。</p>											
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備した地すべり防止施設については、埼玉県が定期的に点検を行い、適切な維持管理を行っている。</p>											
④ 事業実施による環境の変化	<p>本事業の実施により地すべりが安定したことで、植生が回復し、周囲との景観の調和が図られてきている。</p>											

整理番号	1-2
------	-----

<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>前回、期中の評価を実施した平成17年度以降、保全人家、施設等に特段の変化はない。</p> <p>主な保全対象：人家133戸、県道3,000m、村道5,800m、農地32.9ha</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>現在、地すべり活動は見られず、改善措置等の必要性は見られない。</p> <p>今後も引き続き、地すべり活動の再発を監視するとともに、施設の維持管理を適切に実施していく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地すべり活動が顕著化し、人家、道路等へ被害を与える恐れがあったことから、必要性が認められる。 ・効率性： 地下水の排除を目的とする集水井工等の抑制工を主体として選定し、対策の効果を検証しつつ、杭工等の抑止工を最小限に抑えるなど、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、コスト縮減が図られたことから、効率性が認められる。 ・有効性： 地すべり対策を講じることにより、人家、道路等の保全を通じて、民生の安全・安心が確保されていることから、有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：地すべり防止事業
施行箇所：東秩父村

都道府県名：埼玉
(単位：千円)

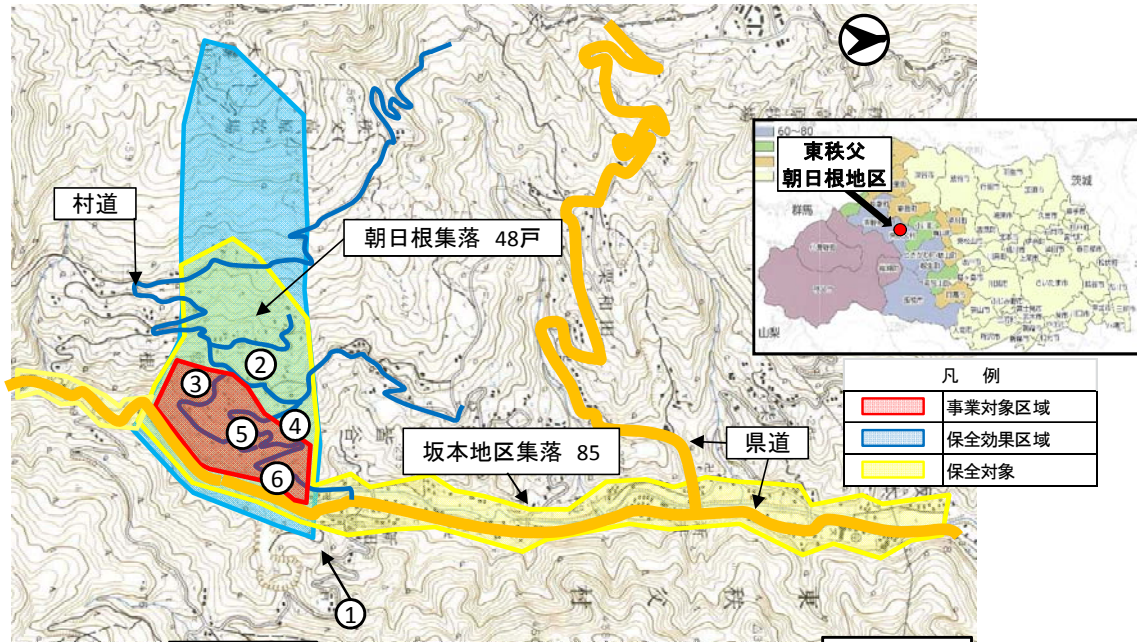
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	7,100,319	
総 便 益 (B)		7,100,319	
総 費 用 (C)		3,592,613	
費用便益比	$B \div C = \frac{7,100,319}{3,592,613} = 1.98$		

評価箇所概要図

整理番号	1
------	---

埼玉県

事業名	民有林補助治山事業(地すべり防止)	地区名	朝日根(あさひね)
-----	-------------------	-----	-----------



整備前

整備後

